

平成26年10月14日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

平成26年度 第2回 教育文化・環境清流合同部会

◆ 10月14日(火)、美しい多摩川フォーラムの平成26年 第2回 教育文化・環境清流合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成26年10月14日(火) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F サンマルコ
- ・出席者：部会長、副部会長、運営委員、会員等

◎ 教育文化・環境清流合同部会の概要

1. 開会

2. 部会長挨拶

3. 講話(25分)

(テーマ)「今」の時代の危機管理

(講師) 宮田 操 様(東京都建設局西多摩建設事務所工事第二課工務係長)

4. 経過報告 ※はビデオ放映

- (1) 美しい多摩川フォーラムの森(青梅)下刈りイベント(6/28)【資料1】
- (2) 多摩川っ子(第7号)発刊(7/9)【資料2】
- (3) 狛江古代カップ第24回「多摩川いかだレース」参加(7/13)【資料3】
- (4) 多摩川“水”大学講座(7/18、9/19)
- (5) 第7回・子どもカヤック体験教室開催(7/19)【資料4】
- (6) 「東北・夢の桜街道推進協議会」平成26年度総会開催(7/29)【資料5】
- (7) 多摩川1万人の清掃大会参加(8/3)【資料6】
- (8) 第6回・炭焼き体験と水辺の交流会開催(8/22)※【資料7】
- (9) 第2回・大人のカヤック体験教室開催(8/30)【資料8】
- (10) “多摩川酒蔵街道”のオープンについて(9/5)【資料9】
- (11) 東急百貨店より第5回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈(9/29)【資料10】
- (12) 第7回・美しい多摩川フォトコンテストの募集開始(10/1～12/31)【資料11】
- (13) 第7回・たまりパー50キロ命名記念・RUN&WALK開催(10/11)【資料12】
- (14) 多摩川“水”大学講座(10/17、11/21)
- (15) 第6回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催(11月)【資料13】

(16) 第7回・多摩川子ども環境シンポジウム開催 (12/6) 【資料14】

5. 意見交換

(1) “多摩川酒蔵街道”のオープンについて (9/5) 【資料9】

(2) その他

6. 部会長総括

7. 閉会

1. 開会 (初参加者紹介および資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成26年度第2回教育文化・環境清流合同部会を始めさせて頂きたいと思います。それでは、本日はじめて部会にご出席される方をご紹介します。

(大田区 教育総務部 社会教育課 社会教育担当 深谷 順 様)

深谷と申します。多摩川の下流からやってまいりました。個人的には川崎市民として、これまでも多摩川と関わってきましたが、大田区としても、水辺の楽校がようやく動き出し、具体的な活動に移していきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(青梅市 建設部 計画調整担当主査 輪千 徳也 様)

輪千と申します。今回初めての参加となりますが、今後とも、多摩川フォーラムさんを通じて色々とお付き合いがあるかと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(八王子市 水環境部 整備課長 守屋 和洋 様)

守屋と申します。現在、八王子市では、水循環計画の見直しを行っており、市内8つの湧水巡りを計画しています。今日は、多摩川酒蔵街道のお話を聞きたく、参加しました。よろしく願いいたします。

(京王電鉄株式会社 広報部長 古屋 圭子 様)

古屋と申します。6月27日付で、前任の大里に代わりまして広報部長に着任いたしました。従来からお世話になっていると聞いておりますが、こちらで勉強させていただきながら、色々ご協力できればと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(NTTコムウェア株式会社 総務人事部 CSR推進室 竹下 伸治 様)

竹下と申します。まず会社の紹介ですが、弊社では、NTTグループの中で、シス

テムインテグレーションとデータセンターの事業を行っております。企業規模は、約7千名の社員を抱えており、社会貢献活動にも力を入れております。弊社では、2009年から青梅市井沢に「企業の森コムウェア」を設置し、様々な環境活動を行ってまいりましたが、5年経って手が離れたことで、新たな社会貢献活動を模索していましたが、今年から「美しい多摩川クリーンキャンペーン」に参加させていただくこととなりました。今後ともよろしく願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。なお、本日は教育文化部長であります平野副会長が、ご公務のため、欠席となります。さて、本日は、東京都建設局西多摩建設事務所工事第二課工務係長の宮田操様にご講話をいただきますので、皆様ご期待ください。はじめに渡邊部会長よりご挨拶をよろしく願いします。

2. 部会長挨拶

(渡邊部会長)

皆さんこんにちは。昨日の台風19号は、非常に大きな台風で心配されましたが、幸い東京は大きな被害が無かったようです。今年は、8月6日に山口県岩国で観測史上最多1時間雨量が71mm、局地的には1時間に120mmという猛烈な雨が降り、また、8月17日には京都府福知山市で観測史上最多の24時間雨量を観測し、自衛隊災害派遣要請がありました。さらに8月20日には、広島県で3時間雨量が204mmに達し、土砂災害が発生、死者・行方不明者30名、また9月11日には北海道の千歳市付近で1時間雨量が100mm、そして9月27日には御岳山が水蒸気爆発し、死者が57名出ました。その後も台風18号、19号が立て続けに日本に上陸し、自然災害が多くなってきています。そういうことから、本日は東京都建設局西多摩建設事務所工事第二課工務係長の宮田様に、『「今」の時代の危機管理』というテーマでお話をいただきます。今後の危機管理の備えに役立てていただければ幸いです。また、事業経過報告、当面の予定、意見交換という日程になっておりますので、ご協力をよろしく願いいたします。

3. 講話

(事務局)

今日は、「今」の時代の危機管理というテーマで、講師に東京都建設局西多摩建設事務所工事第二課工務係長の宮田操様をお迎えし、お話をいただきます。フォーラム会員の皆様には、大雨による河川の水害等に備え、防災意識を高めていただけたら有り難いと存じます。ここで、講師の宮田操様のプロフィールをご紹介します。昭和59年に入都（土木職）、都市整備局、建設局で区画整

理、まちづくり、河川の仕事を主に担当されました。その後、本庁の河川部計画課、防災課で河川の整備計画、維持管理、水防に関する仕事に従事され、北多摩南部建設事務所にご異動、本年4月から西多摩建設事務所にご勤務されております。前方のスクリーンにパワーポイントの画像が映し出されますので、ご参照ください。それでは、宮田様、よろしく申し上げます。

(宮田様)

ただいまご紹介いただきました、宮田でございます。渡邊部会長からタイムリーだというお言葉をいただきましたが、これはたまたまで、講演依頼をいただいたのは年度初めでした。部会での今までの講演内容は、事務所の事業や環境に関する内容が多かったそうですが、私は河川部で維持管理や水防にも携わっておりましたので、自分の言葉で話せる題目を選びました。原稿を構想しているうち、次々に色々な災害が起こり、色々と悩みながら資料を作成しました。ひとつでも皆様の参考になれば幸いです。

皆さんは、「東京都地域防災計画」をご存知でしょうか。これは、災害対策基本法に基づき、東京都が定めなくてはならない防災計画です。東京都では、震災・風水害（水害・土砂災害）・火山・大規模事故・原子力災害の5つの計画を作っています。これは法定計画なので、必ず作らなければならないので、東京都のホームページにも掲載されています。御嶽山の火山が噴火したので、次の噴火はどの火山だろうということで、マスコミ等が報道していますが、東京都の火山防災計画だけでも、分厚い冊子になっています。東京都は島しょを抱えています。島は何年かおきに噴火をしますので、主には島しょの火山対策ですが、富士山の噴火に対する降灰に対する予測もされています。例えば八王子市でも10センチ程降灰すると予想され、それに対する対策が記載されています。また、行政がやるべきことの他に、都民がやるべきこと、用意しなければならないことも記載されており、マスクの用意など、責務として書かれています。そういうことが書かれているにも関わらず、しっかりPRできていないということが、行政の問題ではないかと感じています。

今日は、火山災害に関してお話するのではなく、風水害（水害・土砂災害）についてお話します。他の災害については、「東京都地域防災計画」を一度ご覧になってみてください。これからお話する内容は、1. 雨に関する情報、2. 河川水位に関する情報、3. 行政等の態勢、4. 発表情報、5. 普段の備え、6. 水難事故防止となります。

1. 雨に関する情報

まず、雨の情報はどのように収集しているのでしょうか。台風のように、数日前か

ら来ることが分かっているものに対しては、自分が積極的に情報を収集しなくても、テレビをつければデータ放送などから情報が入ってきたりしますが、ゲリラ豪雨など、突然降ってくる局地的な雨に対しては、自分で情報を収集する必要があります。情報収集としては、今申し上げたテレビのデータ放送だったり、ラジオやパソコンなどがありますが、最近では、色々な自治体が携帯電話にプッシュ情報を発信しています。しかし、全ての自治体がやっているわけではありません。気象庁から気象の注意報や警報が発表された時、都内の自治体で携帯電話にプッシュ情報を発信し始めたのは、恐らく中野区や杉並区が最初ではないかと思えます。これは、平成17年に起きた、神田川や善福寺川での大規模な浸水被害をきっかけに、自治体が対策を講じたものと思われまます。自治体の他にも、有料で情報を提供しているサービスもあります。私は、仕事に関連する多摩地域と、住居がある町田市に関する情報が得られるよう、登録をしています。町田市では対応が遅く、初めは防犯情報のみだったのですが、去年になってやっと気象に関する情報も提供するようになりました。奥多摩町でも、今年度に入ってサービスを始めたので、登録をしました。奥多摩町の情報はいくつか変わっていて、気象の注意喚起情報のメールの中に、地元の消防団員向けのメッセージも入っていて、「〇〇の態勢を取ってください」というメールが登録者全員に発信されます。もしかすると、消防団員にもちゃんと指示をしているんですよということを町民にも知らせるためかもしれません。これらのプッシュ情報は、気象庁の発表の後すぐ発信されるものと、かなり遅れて発信されるものがあります。自治体からの情報はそれほど遅れることはありませんが、民間の無料のサイトだと、1時間も遅れて発信される時があります。その場合は、いずれかの自治体から情報が発信されたら、まず気象庁のホームページを確認するようにしています。気象庁のホームページには、気象レーダー・ナウキャストや高解像度降水ナウキャスト、アメダスの情報が掲載されています。気象庁のホームページ以外にも、東京都下水道局の「東京アメッシュ」や、東京電力の「雨量・雷観測情報」を無料で見る事が出来るので、あらかじめお気に入り登録しておいて、雨雲の動きを観察してください。

2. 河川水位に関する情報

雨が降ると、河川の水位が上がってきます。これについては、私どもの建設局が公開している「東京都 水防災総合情報システム」をぜひ見てください。「東京アメッシュ」などに比べると、認知度は低いのですが、降雨量と河川の水位がリアルタイムで分かります。都内に水位計と雨量計をそれぞれ約100カ所に設置し、そのデータがリアルタイムでホームページに掲載されています。東京都以外の河川の水位情報を知りたい場合は、国交省の「川の防災情報」をご覧ください。こ

ちらには、東京都を含め、全国の川の水位を確認することができます。さきほどお話した「水防災総合情報システム」や「東京アメッシュ」は、東京都ホームページのトップページ右側にある「防災情報」から、「降雨情報」と「降雨・河川水位情報」をワンクリックするとアクセスできますので、時々見て下さい。さらに、テレビのテロップや区市町村配信のメール情報でも確認することができます。以前は、気象庁は東京都を5つのブロックに分けて注意・警報情報を出していましたが、区市町村別の気象予報を出すようになったことから、よりきめ細やかな情報になりました。昨日の台風では、隣の市では警報になっているのに、うちの市ではなっていないということがありましたが、これは、区市町村で気象の注警報を出す基準が違うからです。例えば、神奈川県と南多摩・町田市の間を流れている境川ですが、神奈川県では大雨洪水注意報・警報がすぐに出るのに、東京都ではなかなか出ないことがあります。これも神奈川県と東京都の基準が違うからです。また、防災行政無線でも情報を得ることができますが、窓を開けていなかったり風向きで聞こえないこともあります。情報には、プル（PULL）情報とプッシュ（PUSH）情報があり、プル情報は自分で見に行かなければなりませんが、プッシュ情報は向こうからやってきます。最近、プッシュ情報が増えています。しかし、「危なくなったら教えてくれる」という過信は禁物です。床上浸水は、河川が溢れた時だけではありませんので、河川が溢れていないから大丈夫だと思わないでください。短時間に雨が沢山降れば、雨は低地に溜まり、下水道に繋がる洗濯機の排水溝から水が溢れ出る可能性もあります。また、システムの故障で発信されるはずの情報がかなり遅れて届く場合もあります。ですから、ひとつの情報に頼らず、いくつかの情報を取得する努力をしてください。

3. 行政等の態勢

ではそういった時、行政はどのような態勢を取るのでしょうか。今日は行政の方が何人か出席されているので、お分かりだと思いますが、国・東京都・市町村・警察・消防は、それぞれの役割と活動が決まっています。詳しくは、後でお話しますが、水防計画の中で決まっています。東京都では、気象情報（大雨・洪水・高潮・津波、注意報・警報）の発表で水防態勢をとります。夜間休日の場合は、参集します。24時間態勢の部署もあります。私ども河川部の防災課も24時間態勢で、気象庁から来る様々な気象情報を見ながら、状況に即した対応をしています。また、気象情報が発表されていなくても、状況によっては参集しなければならない場合もあります。また、多摩地域には関係ありませんが、建設局では東部低地にある隅田川をはじめとした内部河川対策として、15の水門を設けており、24時間態勢で監視を行い、災害が発生したら直ちに水門を閉めるようにしています。

4. 発表情報

更に雨が降り続くと、発表される情報があります。今日は、2種類の情報について説明いたします。まずは①「洪水予報」です。西多摩建設局管内では、多摩川に発表されます。他に残堀川や霞川もありますが、これらの河川については発表しません。洪水予報は、気象庁と河川管理者が共同で発表する気象情報です。雨の予測は気象庁が行い、河川水位の予測は国交省が行い、この2者が話し合っ
て洪水予報を発表するのです。では、どうして残堀川や霞川などでは発表しないのでしょうか。河川の水位の予測は、それほど難しくないのですが、流域にどれだけ雨が降るのかを予想するのは非常に難しいのです。多摩川のように、流域が広い河川では、予報し易いのですが、集中豪雨だと難しくなります。要は、「発表したいけれども、技術的に難しい」ということなのです。東京都でも、管轄内の河川の洪水予報をようやく発表するようになりましたが、予測は非常に難しいです。次に、②「土砂災害警戒情報」です。広島
の災害で話題になりました。これは、市町村毎に発表する情報です。土砂災害警戒情報は、気象庁と都道府県が共同で発表する情報です。雨の予測は気象庁が行い、都道府県は土壌雨量指数と土砂災害の危険度を予測し、この2者が話し合っ
て土砂災害警戒情報を発表します。以上のことが、「東京都水防計画」に書かれていますので、ぜひご覧ください。

5. 普段の備え

「東京都水防計画」の中にちゃんと書かれています。行政は、水防倉庫に水防資器材を用意しています。東京都が設置しているだけでも110カ所くらい
の水防倉庫があります。また、市町村が独自に持っている水防倉庫もありますので、合計で400カ所程度あります。水防資器材とはどういうものかと言うと、土嚢袋、水嚢、シャベル、鉄線、杭等です。自治体によっては、あらかじめ土嚢を用意して公園等に積んでいるところもありますし、活動の詳細をマニュアル化して
います。しかし、いくら水防資器材を用意し、マニュアル化されていても、いざという時に使えなければ駄目です。実際の災害時には、色々なことが同時に起こりパニックになることもありますし、機器が故障するなど、マニュアル外のこ
とも起こり得ます。これについては、訓練しかありません。消防や警察が頼りになるのは、日頃の訓練があるからだと思えます。我々河川部には、東京消防庁の職員が派遣され、一緒に訓練することもあります。やはり消防や警察とは全く違
います。東京ディズニーランドでは、毎日どこかで訓練をしているそうです。我々自身も訓練すると同時に、都民にも訓練してもらう必要があります。実際の防災訓練では、避難訓練、土嚢積み体験、降雨体験車、土砂災害体験車が体験できる
ようになっていますが、一斉に訓練する機会はなかなか無いものです。行政、企

業、地域でも、一人ではなかなか出来ません。妄想（イメージトレーニング）は、一人でも出来る最も気軽な訓練ですから、ぜひ妄想してください。我々行政も、防災の啓発や広報をしてはいるのですが、いかに都民に妄想してもらうかが大事だと思っています。妄想する場合のヒントですが、自宅にいる場合を想定し、自宅や地域は地形的・地象的にどんな災害に一番弱いかを考えてください。どんな災害に対してウィークポイントなのかどうかを知るには、ハザードマップ（水害・土砂災害）を活用してください。市町村が作成したハザードマップは、「国交省ハザードマップポータルサイト」で閲覧することが出来ます。東京都建設局のホームページからも見る事が出来ます。

6. 水難事故防止

多摩川フォーラムさんの活動を見ていると、我々が普段やっている以上に、水辺で遊ぶ子どもたちが事故に遭わないように、水難事故防止対策をやっておられるようです。我々の啓発・広報が非常に弱いということです。いかに都民に妄想してもらえるかを考え、「橋の下では雨宿り禁止」の看板を設置したり、「ライフジャケットを見に付けよう」というPRをしていきたいと思えます。皆さんのご協力も期待しております。ご静聴有り難うございました。

（事務局）

宮田様、有り難うございました。せっかくの機会ですので、ご質問のある方は挙手をお願いします。無いようでしたら、経過報告に移りますが、宮田様に今一度拍手をお願いいたします。（拍手）

4. 経過報告

（事務局）

それでは、経過報告に移ります。

(10) “多摩川酒蔵街道”のオープンについて (9/5) 【資料9】

- ・ 【資料9】をご覧ください。こちらは後ほど意見交換でご説明させていただきます。

(11) 東急百貨店より第5回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈 (9/29) 【資料10】

- ・ 【資料10】をご覧ください。平成26年9月29日、株式会社東急百貨店本社にて、今年も東急百貨店のココエコチャリティー・イベントによる売上金の一部707,778円が、当フォーラムに寄付金として贈呈されました。因みに、贈呈式には、ダニエル・カール副会長にご出席いただきました。第5回目となる今

回の寄付金額は、昨年の556,772円を大きく上回り、過去最高となりました。なお、いただいた寄付金は、「多摩川一斉水質調査」などの多摩川環境保全活動に役立てていきます。本件につきまして、東急百貨店の大島様に一言お願いいたします。本日は初めてのご参加ですので、簡単な自己紹介も合わせてお願いいたします。

(東急百貨店 MD企画部 MD計画部 MD計画担当課長 大島 光由 様)

大島と申します。ココエコチャリティーは、2010年から取り組みを始め、今年で5回目になります。このイベントでオリジナルグッズを制作し、販売を通じて寄付を行うというものです。この5年間で34,000点のグッズを販売しております。今年については、倉木麻衣さんとのコラボ・アイテムを製作、販売、拡大キャンペーンを図り、多摩川フォーラムの事務局さんからもご支援をいただきました。今後とも、こちらの活動を通じて、東急百貨店CSR活動の環境の部分でご協力させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(13) 第7回・たまりパー50キロ命名記念・RUN&WALK開催(10/11)【資料12】

- ・ 【資料12】をご覧ください。これは、昨年の大田区による寄付金贈呈の様式です。今年度は10月19日に大田区民有志により、地元の中学生ほか約70名が参加され、フォーラム事務局も大田区丸子橋から一緒にスタートし、タスキをつなぎながらゴールの羽村市役所を目指して激走しました。

(15) 第6回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催(11月)【資料13】

- ・ 【資料13】をご覧ください。美しい多摩川クリーンキャンペーンのチラシです。第1回目は5団体からスタートし、5回目となる昨年度は21団体が連携団体として名を連ねています。今年度は、行政では多摩市、民間企業では株式会社東急百貨店、NTTコムウェア株式会社が新たに参加される予定です。なお、ポスターにつきましては、今月中に各連携先に配布する予定です。今年度は、上流域だけではなく、多摩市さんの協力を得て、中流域でも清掃活動を行う予定です。本件につきまして、今年初参加となるNTTコムウェア様と東急百貨店様より一言お願いいたします。

(NTTコムウェア株式会社 総務人事部 CSR推進室 竹下 伸治 様)

先ほども、ご挨拶の際に申し上げましたが、弊社では、2009年から青梅市沢井に「企業の森コムウェア」を設置し、様々な環境活動を行ってまいりましたが、5年経って手が離れたことで、新たな社会貢献活動を模索していましたが、たまたま「美しい多摩川クリーンキャンペーン」の活動を知り、初参加させていただくこととなり

ました。弊社からは社長、副社長を含め、約30名が参加する予定です。今後ともよろしくお願ひいたします。

(東急百貨店 MD企画部 MD計画部 MD計画担当課長 大島 光由 様)

ココエコチャリティーの寄付金贈呈式の席でお申し出を受け、参加させていただくことになりました。

(事務局)

有り難うございました。このように、毎年連携企業が増えておりますので、皆さまの中でも「来年は参加したい」という企業様、団体様がいらっしゃれば、ぜひご検討をよろしくお願ひいたします。

(16) 第7回・多摩川子ども環境シンポジウム開催 (12/6) 【資料14】

- ・ 【資料14】をご覧ください。今年は、現在のところ、7組が確定しておりますが、最終的には、10組を目標に、各参加団体と調整中です。ぜひ皆さまには会場に足をお運びいただければと存じます。

(8) 第6回・炭焼き体験と水辺の交流会開催 (8/22) 【資料7】

- ・ ビデオ放映をご覧ください。(ビデオ放映)事務局からは以上です。渡邊部会長、よろしくお願ひいたします。

(渡邊部会長)

事務局からの経過報告で、他にご質問などございますか。ないようですので、意見交換に進めます。

5. 意見交換 (副部会長)

(渡邊部会長)

はじめに事務局の方から説明してください。

(1) “多摩川酒蔵街道”のオープンについて (9/5) 【資料9】

(事務局)

【資料9】をご覧ください。この9月5日に、美しい多摩川フォーラムでは、“美しい多摩づくり”の秋のシンボル事業として、西多摩地域に点在する5つの酒蔵(小澤酒造、田村酒造場、石川酒造、中村酒造、野崎酒造)や温泉を紹介するとともに、紅葉の秋を満喫しながら巡る旅を、“多摩川酒蔵街道”と名付け、15~20社近いマスコミに对外公表いたしました。その結果、6社で記事を掲載していただき、その

中から日本経済新聞朝刊、産経新聞、観光経済新聞の記事を資料に添付しております。

“多摩川酒蔵街道”のカラーチラシ両面刷りの裏面には、S u i c a の広告が掲載されていますが、これはJ R 東日本八王子支社さんとの連携により、八王子支社さん管轄の53駅において、9月5日以降、このチラシが備え付けられています。また、大多摩観光連盟さんとも連携をし、大多摩四季報の中開き一面に“多摩川酒蔵街道”を掲載していただきました。この四季報も、チラシと共に53駅に備え付けられています。さらに、はとバスさんとクラブツーリズムさんでは、すでに“多摩川酒蔵街道”のバスツアーが販売されています。これらのバスツアーには、必ず“多摩川酒蔵街道”のオリジナルロゴを掲載するようにしています。

本件につきまして、実行委員として1年間ワーキング・グループでご協力いただきました田村酒造場の田村様と、大多摩四季報でご協力いただきました、大多摩観光連盟の北田様より一言お願いいたします。

(田村酒造場 蔵元 田村 半十郎 様)

西多摩には5つの酒蔵があり、多摩川水系に集中しています。何故西多摩に酒蔵が多いのかと言いますと、酒蔵は大量の良質な水を必要としており、奥多摩水系の良質な水を利用しているのです。今後も、多摩川の清流がいつまでも清流であり続けてほしいと切に願うところであります。また、酒蔵は江戸時代から明治初期にかけて操業しており、大変歴史が古く、地域と共に歴史を重ね、伝統文化や地域を大切にしながら歩んでいるため、この教育文化・環境清流合同部会の活動には、大いに共鳴しなければならないと思っております。“多摩川酒蔵街道”のオープンについては、「地域経済の活性化を図る」ためでもあります。多摩川の清流を大切にしている酒蔵であると大いにPRできるのではないかと思います。「クール・ジャパン」の中に日本酒が含まれますし、東京オリンピックに向けて東京都や国の機関も日本酒のPRに力を入れることになっていますので、非常にタイムリーなことです。私は観光業をやっている訳ではないので素人ですが、皆さんに喜んでいただけるものは十分にあるのではないかと考えておりますので、皆さんから色々なご意見をいただきながら、ご案内してまいりたいと思っております。有り難うございました。

(社団法人大多摩観光連盟 事務局次長 北田 真咲 様)

先ほどご紹介いただいた「大多摩四季報」ですが、年に4回作成し、1回につき45,000部発行しております。主な配布先は、J R 東日本八王子支社、東京支社、横浜支社、大宮支社、千葉支社の主要駅に無料で置かせていただいています。今回については、“多摩川酒蔵街道”と湯巡りを合わせて見開きで掲載させていただきました。本日は何部かお持ちしましたので、お帰りの際にお持ち帰りいただければと思います。有り難うございました。

(事務局)

有り難うございました。この“多摩川酒蔵街道”続きまして、皆さんからご意見をいただきたいところですが、時間に限りがあるため、こちらからご指名をさせていただきたいと存じます。本日、初めてご出席いただきました、京王電鉄の古屋様、“多摩川酒蔵街道”につきまして、ご感想やご意見など、一言お願いいたします。

(京王電鉄株式会社 広報部長 古屋 圭子 様)

新聞報道は以前より拝見させていただいており、正直に申し上げると「羨ましい」といった感想になります。酒蔵は、京王線沿線ではなく、JRさんの沿線なので、私どもも、こういったことを見習って、新しい観光を盛り上げていきたいと思っております。また、個人的には、酒蔵にお邪魔したこともありますので、個人的に参加したいと思っておりました。

(事務局)

有り難うございました。交流人口増加のためにも、「京王電鉄に乗って“多摩川酒蔵街道”を巡る」という観点からも、ぜひ来年は連携をしていきたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。続きまして、近畿日本ツーリストの馬場様、一言お願いいたします。

(近畿日本ツーリスト株式会社 首都圏西団体旅行支社 課長 馬場 真人 様)

私どもは、“多摩川酒蔵街道”の連携先としてチラシに記載させていただいております。私は先日、「大人のカヤック体験教室」に参加させていただきました。この会議室から一歩外に出て、実際に多摩川フォーラムのイベントに参加しました。会議で議論するだけではなく、実際にイベントに参加すると良く理解出来ることがありますので、ぜひ皆さんにはツアーに参加していただいたり、個人で酒蔵街道を巡るなりしていただきたいと思っております。実際に自分の足で巡ってみれば、色々な意味合いがより理解できるのではないかと思います。

(事務局)

有り難うございました。最後に、東京都農林水産振興財団の金子様より、「森づくり支援倶楽部会報誌」につきまして、ご紹介をお願いいたします。

(東京都農林水産振興財団花粉の少ない森づくり運動担当課長 金子 悦子 様)

本日お配りした会報誌ですが、4ページ目に多摩川フォーラムさんの下刈りイベントが掲載されております。当日は、残念ながら降雨により作業は中止となりましたが、渡邊部会長も出席され、地元中学の校長先生や生徒さんにもご参加いただきました。

その際、中学生のお母様も随行され、お話を伺ったところ、参加された中学生のお兄さんが、以前多摩川フォーラムの森の下刈りに参加し、良かったということで、今回は弟さんが参加されたそうです。兄弟で参加する例もあり、良い話だと思いましたので、ご報告させていただきます。

また、次ページにはチラシが入っていると思いますが、当団体は、東京マラソン2015チャリティ“つなぐ”事業の寄付先団体となっております。これには3つの良いことがあります。東京マラソンは、当選倍率10倍となっており、抽選に当たる確率が低いのですが、チャリティランナーとして走ることができます。また、環境に貢献できますし、さらに寄付金控除されますので、個人でも企業様でもぜひご検討いただければと思います。

(事務局)

有り難うございました。それでは渡邊部会長にマイクを移します。

(渡邊部会長)

一点だけ質問があります。“多摩川酒蔵街道”のバスツアーですが、出発地が東京・新宿となっており、青梅在住の私がツアーに参加したい場合、新宿駅まで行かなければなりません。立川駅付近発着のバスに乗れるようにはならないのでしょうか。

(事務局)

東京新聞をご覧になった方からも、電話でそのような質問がありました。これについては、クラブツーリズムに伝えてまいりたいと思います。今年は初年度ということでしたが、今後さらにバスツアーの種類も増えて行けば良いと思います。

6. 総括・閉会（部会長）

(渡邊部会長)

今日は、宮田様から貴重なご講話をいただきました。基本的には、「自分の身は自分で守る」ということだと思いますが、そのためには常日頃の天気予報などを確認し、備えを考え準備することが重要だと思います。「備えあれば憂いなし」です。また、経過報告では、沢山の素晴らしい事業報告がありましたが、中でも“多摩川酒蔵街道”の報告は、お酒の好きな方にとっては非常に楽しみな事業だと思います。また、東急百貨店による第5回目のココエコチャリティー寄付金として、707,778円が贈呈されたということです。意見交換では、“多摩川酒蔵街道”の意見をいただき、今後の運営の参考とさせていただきます。以上、総括とさせていただきます。

(事務局)

以上をもちまして、平成26年度第2回教育文化・環境清流合同部会を終了します。
本日は、お忙しい中お集まりいただき、有り難うございました。

以 上